

## 第10回 和歌山県高校生英語ディベート大会開催要項

- 1 目的 日頃の英語の学習成果を発表する機会をとおして、物事を多角的な視点からとらえる態度を育成するとともに、ディベート活動を通して生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
- 2 主催 和歌山県教育委員会
- 3 日時 令和3年9月26日（日）（予備日は10月24日（日）とする）  
9：30～17：30（受付 9：10～）
- 4 会場 和歌山県民文化会館  
和歌山市小松原通一丁目1番地（電話 073-436-1331）
- 5 参加資格
  - ・ 県内の高等学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校の3年生までに在学する生徒。
  - ・ 英語のネイティブスピーカーは不可。
  - ・ 次の（1）～（3）のいずれかの条件に該当する者は、1チームにつき2名までとする。ただし、該当生徒で各試合に出場できるのは1名までとする。（試合ごとの変更は可能。）
    - （1）英語を第1言語とする国に12か月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
    - （2）英語を第2言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
    - （3）家族で常用的に英語を使っている生徒
- 6 チーム構成 同一校でチームを編成し、1チームは4名～6名。（1校から複数チームの出場も可能であるが、1校からの出場チーム数を制限することがある。）
- 7 競技規則 和歌山県高校生英語ディベート大会基本ルール（別紙）による。また、全国高校英語ディベート連盟（HEnDA）による全国高校生英語ディベート大会ルール <http://henda.global/>を参考とする。  
（予選運営方法等で異なる部分もあるので注意すること。）
- 8 競技方法 トーナメント形式とする。  
組み合わせについては、参加申し込み終了後、抽選を行う。  
なお、昨年度の1位校、2位校をシード校とするが、シード校から複数チームのエントリーがあった場合は、その学校において優先順位の高いチームをシードの対象とする。  
ただし、参加チーム数の状況により、競技方法を変更することもある。

9 論 題

すべての試合において、次の論題とする。

Resolved: That the Japanese Government should relocate the capital functions out of Tokyo.

日本政府は、首都機能を東京の外に移転すべきである。是か非か。

10 表 彰

1位～4位までに楯と賞状を授与する。また、ベストディベーターに賞状を授与する。

11 全国大会への出場

- (1) 上位校（本大会の出場校数により、全国大会への出場校数が決定する。）には、令和3年12月にオンラインで開催される第16回全国高校生英語ディベート大会への出場権が与えられる。
- (2) 全国大会の出場は1校あたり1チームまでとし、同大会への出場選手は再構成し、登録することができる。
- (3) 全国大会出場に係る登録等の費用は、各学校の負担とする。

12 参加申込等

各学校において参加チーム毎に参加申込書（別記様式）を作成の上、取りまとめて令和3年6月30日（水）までに、下記担当宛て提出すること。

13 ジャッジについて

出場校は、ジャッジを1名登録すること。

ジャッジ資格については問わないものとするが、全国高校生英語ディベート連盟（HENDA）のルールに基づき、試合の勝敗を判定する能力が求められる。

なお、引率教員以外の者がジャッジのために参加した場合、その費用は出場校の負担とする。

14 そ の 他

- ・新型コロナウイルス感染症の状況及び参加チーム数により、中止となる可能性がある。
- ・県立学校の教員が引率またはジャッジとして参加した場合、週休日の振り替えとなる。

【担当】 和歌山県教育庁学校教育局県立学校教育課  
専門教育班 指導主事 藤岡 直大  
〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地  
TEL 073-441-3686 FAX 073-441-3652